

脱炭素・SDGs 推進省エネ教育プログラム「サステナッジ教育」

◎東京ガス株式会社／株式会社住環境計画研究所

東京ガス株式会社【住所】〒108-0022 東京都港区海岸1-5-20

【TEL】03-5400-3771【URL】<https://www.tokyo-gas.co.jp/>

株式会社住環境【住所】〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-29 紀尾井町アークビル3F

計画研究所【TEL】03-3234-1177【URL】<http://www.jyuri.co.jp/>

活動概要

緩和分野

取組の概要

「ナッジ」や「行動変容ステージモデル」等の行動科学の知見を用いた省エネ教育プログラムを開発し、2017年から4年間で43校が導入した。全国約1万名の児童生徒が受講し、家庭のCO₂排出量を5.1%削減できることを確認した。2023年度より、カーボンニュートラルシティを目指す自治体での導入を開始し、持続可能な社会の創り手の育成による省エネ促進を目指している。

気候変動対策としての貢献度

脱炭素社会実現にむけ、省エネ行動を社会規範として定着させるため、学校で容易に導入できる省エネ教育プログラムとし、家庭のCO₂排出量削減に貢献できることを確認した。2023年からは日本初のエビデンスに基づいた脱炭素に資する教育として、カーボンニュートラルシティを目指す自治体の小中学校等で導入を開始している。神奈川県秦野市および東京都昭島市では、小中学生計650名が受講し、約120tのCO₂削減効果を得た。本教育普及により家庭での省エネ行動促進の一助となる。

期待される波及効果

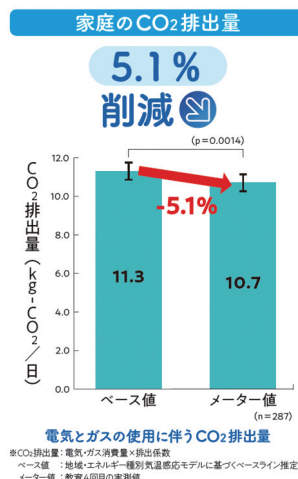
家庭での省エネ行動を促し、家族を巻き込んだ行動変容につながっている。子供からは「家族と一緒に省エネに取り組み地球温暖化を防ぎたい」、保護者からは「子供の声掛けで省エネに取り組むようになった」という声が多く聞かれる。教員が指導者となり授業を行うことから、自治体単位等で導入することで面的な波及効果が期待できる。加えて、省エネ行動の持続性も確認しており、継続的な導入による累積効果も見込まれる。

刷新的要素

ナッジ等行動科学の先進的知見を活用し、日本で初めて学校での省エネ教育が家庭のCO₂排出量に与える影響を定量的に実証した。行動変容ステージモデルに基づき、ステージの違いを加味した情報提供や支援を行うことで、環境問題への意識を喚起し、全体の意識・行動レベルを向上させる工夫を取り込んでいる。その結果、省エネ行動を実践するようになった子供の約95%が1年後も行動を継続しており、教育効果の持続性も確認した。

今後の計画、持続的な展開の展望

本教育の普及促進を通して、気候変動問題の緩和および地域と連携した持続可能な社会の実現に貢献できる子供達の育成に寄与していきたい。自治体と連携し指導者の養成にも力を入れており、2023年度から取り組んでいる秦野市においては、2年間で計37名の教員が指導者となった。今後も、多くの自治体と脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいく所存である。



教育による家庭のCO₂排出量削減効果と開発した教材



「節電実験」に取り組む児童の様子